

中山間地域における肉用鶏のスマート飼養管理技術の開発

背景

- ・ **県西部の肉用鶏生産**は、県産出額の5割を占める主要産業
- ・ 生産面では「**担い手の確保**」や「**作業の効率化**」が大きな課題
- ・ 持続可能な養鶏業の振興を図るべく、地域の養鶏関係者等が、「にし阿波・山のチキンファーム構想」コンソーシアムを設立(R6.9)
- ・ 生産から処理・加工、流通までサプライチェーン強化の取組に着手

目的・目標

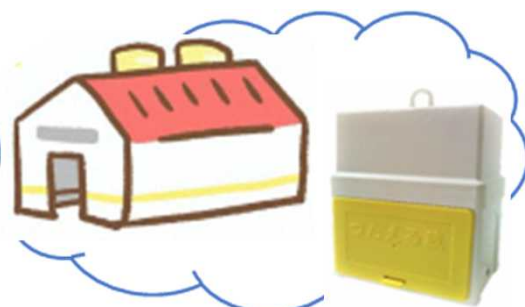
- ・ コンソーシアムの取組と連動させ「**スマート飼養管理技術**」を確立
- ・ 新たな担い手が「**安心して新規参入できる環境**」を整備



取組概要

近年の産肉能力が向上した肉用鶏の省力管理を図るために！

- ①鶏舎内の**環境データをスマートフォンを介して把握**できるセンサー機器を鶏舎内に設置し、環境データや育成データを収集・蓄積・解析
- ②得られたデータに基づき、繊細な温湿度管理の基準づくりや、警報アラーム機能の拡充など、**中山間地域に適した環境測定システムを開発**



リアルタイム



山の麓で
チェック

鶏舎内環境測定システム（つたえる蔵）

メンバーと役割分担

○ 徳島県立農林水産総合技術支援センター（リーダー）

- ・ 環境モニタリング
- ・ 環境要因と発育成績との相関性を調査分析



○ 吉野川養鶏農業協同組合

- ・ 環境モニタリングシステムの実証導入
- ・ 環境要因と発育成績の収集



○ 株式会社イシイ

- ・ 鶏舎内環境測定システムの改良

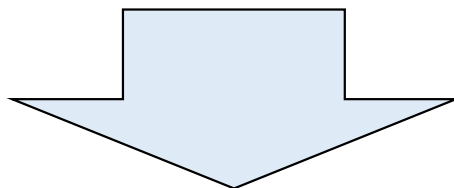


成果の社会実装に向けたアプローチ

プロジェクトで**得られた知見**や開発する**スマート飼養管理技術**

○コンソーシアムを通じて、**県西部の肉用鶏生産者全てに共有**

○県西部の取組をモデルとして、**県南などの他産地へも波及**



持続可能な本県養鶏産業の発展

